

定 員 定員100名（先着順：定員に達した時点で大阪大学大学院言語文化研究科HPに揭示します。）
本講座は、社会と大学を直接的に結び、大学の基礎・応用研究を学校の現場で活かしていただくことを主眼としており、中学校、高校、小学校などで英語教育に携わっている方ならびに携わることを目指している方を対象にしています。それ以外の方は定員に余裕がある場合に限り、受講可とさせていただきますので、本研究科HPでご確認ください。

講 習 料 10,200円

参加申込み（受付期間 7月2日（火）～7月17日（水）期限厳守）

- ① **E-mail** (アドレス:genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp) または下欄の「受講申込書」に、氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、職業、勤務先名、選択講義をご記入のうえお申し込みください。
なお、「受講申込書」で申し込まれる方は、下記宛先まで**郵送**または**ファックス**でご送付願います。
宛先：〒560-0043 豊中市待兼山町1ー8
大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係
FAX：06ー6850ー5865
②受講の可否を申込み受付後、E-mailにて通知いたします。お申し込み後、1週間以内にこちらから通知が届かないようでしたら、一度お問い合わせください。
③講習料は、E-mailによる受講許可通知に記載の方法にて、指定振込銀行口座へ受講者氏名でお振り込み（手数料はご本人負担）願います。
・**お振り込みいただきました講習料は、欠席された場合でも返金できませんので、ご了承ください。**

会 場 **大阪大学中之島センター** (<http://www.onc.osaka-u.ac.jp> 地図掲載) (所在地 大阪市北区中之島4ー3ー53)
電車によるアクセス 京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分 阪神本線 福島駅より徒歩約9分
JR東西線 新福島駅より徒歩約9分 JR環状線 福島駅より徒歩約12分
地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約10分
バスによるアクセス 大阪市バス 53系統 大阪駅前バスターミナル→中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分
大阪市バス 75系統 大阪駅前バスターミナル→田蓑橋下車 徒歩2分
北港バス(中之島ループバス ふらら) 淀屋橋発(土佐堀通／住友ビル前)→大阪大学中之島センター前下車 徒歩1分

テーマ討論懇親会

修了証書授与式後、講師陣と受講者とが親しく意見交換する場です（軽食と飲み物を提供）。
（参加費1,000円程度：お振り込みをなされずに、初日に会場受付でお支払いください。）

問い合わせ：大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係
(E-mail: genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-5855)

主 催：大阪大学大学院言語文化研究科 <http://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/>

後 援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会

- ・全講義（時間帯）の60％以上に出席された受講生の方には大阪大学エクステンション修了証書を授与いたします。それ未満の方には受講証明書を後日送付いたします。
- ・お申し込みの際に必要なみなさまの情報は、連絡先の把握及び今後の公開講座運営上の統計資料作成、関連情報の提供以外には使用いたしません。

平成25年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

「教員のための英語リフレッシュ講座」受講申込書（記載漏れがある場合には受講できません）

(フリガナ)				年 齢	歳
氏 名					
住 所	(〒ーー)				
	日中連絡可能なお電話番号：(ーーーーーーーーーー)				
E-mail (必須)	@				
職 業 (必須)		学校名	TEL：(ーーーーーーーーーー)	テーマ討論懇親会	
				参加する・参加しない	
8月6日（火）10:00～11:30	(ー)	「認知的視点から見た英文法」	(ー)	「EUとアジアの英語教育に学ぶ」	それぞれの 時間帯で選択 する講義の (ー)に○を 記入
8月6日（火）14:00～15:30	(ー)	「プロジェクト型学習と動機づけー小学校外国語活動を中心に」	(ー)	「英文を読む楽しみ」	
8月7日（水）12:50～14:20	(ー)	「教室で役立つ英語史の知識」	(ー)	「英詩の世界を味わう」	
8月7日（水）14:30～17:00	(ー)	「コミュニケーション」	(ー)	「基礎」／(ー)「中級」／(ー)「上級」	
8月8日（木）10:00～11:30	(ー)	「生徒の英語力をどう評価するか」	(ー)	「小学校英語活動を中学校の英語にどうつなぐか」	
8月8日（木）12:20～13:50	(ー)	「ESPによる英語運用力の底上げ」	(ー)	「コーパスと英語辞書と語彙指導」	
	(ー)	「プロジェクト型学習と動機づけー小学校外国語活動を中心に」	(ー)	「英文を読む楽しみ」	
	(ー)	「教室で役立つ英語史の知識」	(ー)	「英詩の世界を味わう」	

平成25年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

「教員のための英語リフレッシュ講座」

日程：平成25年8月5日(月)、6日(火)、7日(水)、8日(木)、9日(金)
会場：大阪大学中之島センター

オーラルコミュニケーション偏向の授業になって久しいが、中学、高校の（リスニング以外の）英語力は着実に低下しつつづけている。また教員の態勢が整わない段階での小学校英語の導入や「授業は英語で」という新学習指導要領の方針が実施され、教育現場では戸惑いと混乱が広がっている。
本講座では、（理論的な根拠もなく英語教育の失敗の元凶とされた）「文法と訳読」が外国語学習環境での英語力の基盤育成に不可欠であるとの認識の下に、教室でも応用可能な現代の文法・語法・辞書研究の成果を紹介するほか、関連研究領域（言語習得論や学習動機・方略研究、脳機能研究など）の最近の理論的な知見を踏まえ、英語力を着実に伸ばし運用能力の育成にもつながる授業のあり方を（ネットやCALLの活用を含め）総合的に考察するだけでなく、小学校英語にいかに対応するかについても検討する。教員それぞれの造詣・技量を適切に活かし、生徒も理解・納得できる魅力的で効果的な教育の実践を期するものである。また「発音の動的な変化の仕組み」「リズムとイントネーション」「音読の技法」を分かりやすく解説・訓練するとともに、少人数グループの「ネイティブスピーカーによる体験授業」を通じて英語運用力の向上を図るほか、文学作品の意味・語用・文体論的分析も行ない、授業にも生かす知見を深める。全体討論では、「英語での授業」が実施される中で出てきた現場での諸問題を中心に受講者の質問についても討議し、日本の英語教育のあるべき姿を考えて見たい。

講師および演題

8月5日（月）

10:00～12:00「日本人に相応しい英語教育ー言語習得論の錯誤を正す」(最初にオリエンテーション) 成田一名誉教授
12:50～14:20「英語らしい発音の科学ーダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀」 成田一名誉教授
14:30～16:00「英文読解の方略」 (関西大学) 池田真生子准教授

8月6日（火）

*10:00～11:30「認知的視点から見た英文法」 早瀬尚子准教授
*10:00～11:30「EUとアジアの英語教育に学ぶ」 (京都光華女子大) 河原俊昭教授
12:20～13:50「言語能力の自動化の訓練」 (関西学院大学) 門田修平教授
*14:00～15:30「プロジェクト型学習と動機づけー小学校外国語活動を中心に」 西田理恵子講師
*14:00～15:30「英文を読む楽しみ」 沖田知子教授
15:40～17:10「生徒の英語力を伸ばす音読指導ー留意点と技法」 (京都外国語大学) 鈴木寿一教授

8月7日（水）

10:00～12:00「『国際英語』教育の理論と授業実践」 日野信行教授
*12:50～14:20「教室で役立つ英語史の知識」 尾崎久男准教授
*12:50～14:20「英詩の世界を味わう」 小口一郎准教授
*14:30～17:00「コミュニケーション基礎」 ボブ・パーキンス特任准教授、デーヴィッド・マレー講師
*14:30～17:00「コミュニケーション中級」 サイモン・コーム特任准教授、スティーヴ・ミュラー講師
*14:30～17:00「コミュニケーション上級」 ジェリー・ヨコタ教授、トレーン・デヴォア特任准教授

8月8日（木）

*10:00～11:30「生徒の英語力をどう評価するか」 今尾康裕講師
*10:00～11:30「小学校英語活動を中学校の英語にどうつなぐか」 (立命館小中高一貫英語科アドバイザー) 田縁真弓先生
*12:20～13:50「ESPによる英語運用力の底上げ」 (神戸女学院大学) 川越栄子教授
*12:20～13:50「コーパスと英語辞書と語彙指導」 (京都外国語大学) 赤野一郎教授
14:00～15:30「英語学習の情意と動機」 (関西大学) 八島智子教授
15:40～17:10「英語の語感を磨く」 (関西外国語大学) 八木克正特任教授

8月9日（金）

10:00～11:30「中高生に英語の語法・文法をどう教えるか」 (関西大学) 奥田隆一教授
11:40～12:50「リズムとイントネーションが運用の決め手」 (同志社大学) 森 庸子講師
13:40～15:10「協同学習を取り入れた英語授業改革」 (和歌山大学) 江利川春雄教授
15:20～16:40 全体討論「英語で授業したら英語力が高まったか？ー現場からの報告を踏まえて」 講師陣
16:45～17:00 講座修了証書授与式 大学院言語文化研究科長 木村茂雄教授
17:15～19:00 テーマ討論懇親会（講師陣のミニスピーチと意見交換）

- 同時時間帯に開講の＊印付きの講義は選択です。申し込み用紙に、それぞれの時間帯で選択する講義に○を付けて下さい。「コミュニケーション」は「基礎・中級・上級」が選択ですが、定員を超えた場合、当日昼に調整させていただきます。ご了承ください。
- 会場では5日(月)に本講座の講師陣が執筆の『英語リフレッシュ講座』(大阪大学出版会)を著者割引1,900円で頒布いたします。

講師プロフィール & 講義内容



日本人に相応しい英語教育－言語習得論の錯誤を正す（最初にオリエンテーション） 英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀

成田 一

大阪大学名誉教授 英日対照構造論・機械翻訳・言語教育/計画専攻

著書『日本人に相応しい英語教育』（松柏社）他、編著『英語リフレッシュ講座』（大阪大学出版会）他、英語教育総合学会会長。
講義内容：日本の英語教育のあり方を言語理論的に追求し運用自動化の方策を探る共に、生徒の学習意欲を高め運用能力の育成に繋がる総合的訳読教育を提案。「小学校英語」「英語で授業」「社内英語化」等の問題点も論じる。
講義内容：「ダイナミックな発音変容の仕組みの理解を踏まえた発音・聴解訓練」の解説と訓練を行うとともに、発声の生理的仕組みをMRI動画、音読時の脳活動画像等を示して解説する。



英文読解の方略

池田真生子

関西大学准教授 英語教育学（学習方略）専攻

博士（外国語教育学）。著書に『*EFL Reading Strategies*』/『外国語教育研究ハンドブック』（分担執筆）（松柏社）等。
講義内容：新学習指導要領では、音声だけでなく文字によるコミュニケーション能力も重要視されている。そこで本講義では、英文読解能力を高めるための方略とその指導方法を、英語学習全体を視野に入れつつ紹介する。



認知的視点から見た英文法

早瀬尚子

言語認知科学講座准教授 認知言語学・構文論専攻

英語構文と意味、主観性、視点を研究。著書に『英語構文のカテゴリー形成』（勁草書房）、『認知文法の新展開』（研究社）等。
講義内容：「言語形式は我々の捉え方を反映する」という認知言語学の考え方を基に、前置詞や動詞の多義、構文の書き換えに伴う意味の違い、日英発想法と英作文パターン等を扱う。



EUとアジアの英語教育に学ぶ

河原俊昭

京都光華女子大学教授 言語政策・アジア英語・英語教育専攻

世界各地の言語教育の実態を研究。編著書に『世界の言語政策』（くろしお）、『アジア・オセアニアの英語』（めこん）等。
講義内容：EUやアジアをはじめとして、世界には多言語国家が多い。そこでは、多言語社会を前提に言語教育が行われてきた。日本の言語政策に関して、EUやアジアの小学校以降の英語教育を参考にして、そこから何が学べるか考えてみたい。



言語能力の自動化の訓練

門田修平

関西学院大学教授 応用言語学、心理言語学専攻

英語がいかに知覚、処理、記憶、学習されるか、そのメカニズムを研究。著書に『シャドーイング・音読と英語習得の科学』（コスモピア）他。
講義内容：耳でとらえた音声、目で見た文字を、実際に発音するシャドーイング・音読の練習が、なゼリスニングやスピーキングの能力を向上させるのか、またどのような学習方法がよいかについて、これまでの成果をお話する。



プロジェクト型学習と動機づけ－小学校外国語活動を中心に

西田理恵子

言語文化教育論講座講師 応用言語学専攻

外国語教育学博士。第二言語習得時における学習者の動機づけや心理的要因に関する実証研究を行っている。
講義内容：第二言語習得時における動機づけの先行研究を概観し、プロジェクト型授業に関する実証研究と教育実践の報告を行う。主に小学校外国語活動の事例を中心に発表する。



英文を読む楽しみ

沖田知子

言語コミュニケーション論講座教授 ことば学専攻

意味論・語用論・文法論から広くことば遊びも含め、ことばの選択・使用・効果を考える「ことば学」を研究。
講義内容：ことばの選択や文脈等も含め、使い手が「なぜこのような言い方をし、どのようなことを伝えようとしているのか」を意識して立体的にこころを読み解くことから、読み手としての「英文楽」を味わいたい。



生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法

鈴木寿一

京都外国語大学教授 英語教育学（指導法研究）専攻

4技能、文法、語彙指導法を実証的に研究。『英語音読指導ハンドブック』（大修館書店）、*New Stream*（増進堂）関西英語教育学会副会長。
講義内容：音読は英語力を伸ばすために不可欠だが、不適切な指導が行われていることが多い。講義では、問題のある音読指導を取り上げながら効果的な音読指導を行うための留意点を確認後、効果的な音読指導法を紹介する。



「国際英語」教育の理論と授業実践

日野信行

言語文化教育論講座教授 「国際英語」教育専攻

元「百万人の英語」講師。著書『トーフルで650点：私の英語修業』（南雲堂）。大阪大学共通教育賞14回。日本「アジア英語」学会会長。
講義内容：非母語話者のそれぞれの文化に基づく多様な英語を尊重する「国際英語」の概念について論じるとともに、授業当日の各国の英語ニュースを用いる本講師のクラス等、「国際英語」教育の実践について紹介する。



教室で役立つ英語史の知識

尾崎久男

言語文化比較交流論講座准教授 中世ゲルマン語学専攻

博士（英語学）。日本中世英語英文学会評議員。印欧語全般（特にゲルマン語）を対象として、言語間の相互影響を調査・研究。
講義内容：英語史に関する知識があって初めて、現代英語の正確な姿が見えてくる。例えば、不定冠詞aは後続する語が母音で始まる場合に「-nを加えて」anとする、と教えることが、どうして誤りなのかを解説する。



英詩の世界を味わう

小口一郎

言語文化教育論講座准教授 イギリス・ロマン主義の詩学と18世紀思想専攻

イギリス・ロマン主義の文学と文学論を思想的コンテクストから解釈。著書に『揺るぎなき信念－イギリス・ロマン主義論集』（彩流社）等。
講義内容：人間にとって最大の問題である「生」と「死」を、詩人たちはどのように捉えたのか？「人生のはかなさ」「自然界の生存競争」等、生と死にまつわる問題を扱った詩を取り上げる。

コミュニケーション



基礎 ①How to be more confident when it's your turn to speak

ボブ・パーキンス

特任准教授、TESOL・ELT修士

講義内容：コンピュータ技術を活用し現在の英語力で英語コミュニケーション力を向上させる。



中級 ①Conversation Groups and Oral Communication

サイモン・コーム

特任准教授、工学博士、応用言語学修士

講義内容：英語コミュニケーション力を向上させる様々な方略を提案する授業を行う。



上級 ①Multicultural Literacy in the EFL Classroom

ジェリー・ヨコタ

現代超域文化論講座教授 比較文学・演劇学専攻

文学博士。修辞、パフォーマンス、ジェンダー、翻訳を中心に、アートを国際コミュニケーションのメディアと捉えて研究。
講義内容：模擬授業の後、教員が現場で直面する問題について討議し、その問題解決への道を拓く。



生徒の英語力をどう評価するか

今尾康裕

言語文化教育論講座講師 言語テスト・英語教育専攻

学習者コーパスからの知見を言語テストに生かす方法を研究。Mac用のコーパス分析ツール等を開発。
講義内容：よい英語のテストを作るのに必要な要素は何なのか、教育現場で生徒の英語力を評価する際に何を考慮すればいいのか、などについて考える。



小学校英語活動を中学校の英語にどうつなぐか

田縁眞弓

立命館小中高一貫英語科アドバイザー 早期英語教育専攻

立命館小中高一貫英語科アドバイザー。立命館大学・京都教育大学講師、公立小学校英語活動指導アドバイザー。小学生向け英語テキスト著者。
講義内容：小学校で英語を学んだ生徒の特長と、その強みを生かすには中学校でどういった指導を行うべきかを「目指す英語力の連携」を視点にいれ考える。「音声から文字へ」の導入法もその具体的な実践例とともに紹介する。



ESPによる英語運用力の底上げ

川越栄子

神戸女学院大学教授 英語教育学(ESP)専攻

著書に「Travelers' First Aid Kit」（センゲージラーニング）、「実践の時事英語医療版一ザ・デイリーヨミウリを読む」（大学教育出版）等。
講義内容：ESP（特定目的の英語）教育が英語教育の流れを大きく変えている。将来の職業に必要な英語や特に関心を持つ分野の英語を教えることで、英語学習への興味とモチベーションを高め、英語力を伸ばすことができる。



コーパスと英語辞書と語彙指導

赤野一郎

京都外国語大学教授 英語辞書学・コーパス言語学専攻

コーパスに基づく語彙研究と辞書編集に従事。『ウィズダム英和辞典』（三省堂）。英語コーパス学会前会長。
講義内容：最近の辞書はコーパスに基づき編纂されている。その特徴の1つは豊富なコロケーション情報である。語彙指導においてもその重要性が認識されつつある。本講座ではコロケーションについて多面的に考える。



英語学習の情意と動機

八島智子

関西大学外国語学部教授 応用言語学・異文化コミュニケーション論専攻

文化科学博士。著書に『異文化コミュニケーション論』（松柏社）等。検定済教科書*Sailing*編集主幹。
講義内容：人はなぜ英語を学びたい（たかない）と思うのか？英語学習の意欲とコミュニケーションの動機の関係は？動機づけ関連要因を探り、英語の学習がどのように国際的関心や他者に開かれた心につながっていくのかを考える。



英語の語感を磨く

八木克正

関西外国語大学特任教授 英語学・英語フレイジオロジー専攻

英語辞典・事典編纂者。新著に『英語の疑問 新解決法』（三省堂）、『英語教育に役立つ英語の基礎知識Q & A』（開拓社）。
講義内容：言語は常に変化している。今の英語の文法と語彙に関する規則性を見出し、英語の解釈や分析を行うための基本的な考え方、道具立て、論理展開の方法を具体的に考える。



中高生に英語の語法・文法をどう教えるか

奥田隆一

関西大学外国語学部教授 英語学（英語語法・日英対照意味論）専攻

著書『英語語法学をめざして』（関西大学出版部）で、英語語法を言語学視点で体系的にとらえ直す事を試みる。
講義内容：英語のコミュニケーション教育が強調されるにつれて、英文法・語法が軽視され、正確に理解していない生徒が増えて来ている。コミュニケーションにも重要な、日本人の理解しにくい英文法・語法について考察する。



リズムとイントネーションが運用の決め手

森 庸子

同志社大学講師 日英対照音声学専攻

日本語と英語のリズムとイントネーションを実証的に研究し、さまざまな日本人英語の音声的特徴を提唱。
講義内容：日本語と英語の話し言葉ではリズムやイントネーションがどのように異なり、そのことが日本人の英語にどのような影響を及ぼしているのであろうか？ 音声実験の結果をもとに日本人英語の特徴とその改善法を紹介する。



協同学習を取り入れた英語授業改革

江利川春雄

和歌山大学教育学部教授 英語科教育学・英語教育史専攻

英語学習/政策史を踏まえ、英語教育のあり方を提言。著書に『協同学習を取り入れた英語授業のすすめ』（大修館）他。
講義内容：仲間と学び合い高め合うことで、学力と人間関係力を共に向上させる協同学習。その基本原理と実践方法を、英語科での事例を交えて紹介する。競争と格差を超え、生涯にわたって学びを楽しむ自律学習者を育てよう。